

山西仁喜多津会

やまにしにき たつ かい



山西仁喜多津会は、昔からの伝統を引き継ぎ、平成5年に発足致しました。積極的に地域行事に参加し、町の活性化に努めております。神輿四体、獅子舞、御神楽等で盛大な秋祭りをを行い、息のあった神輿守が月と千鳥の大神輿で華麗に勇ましく祭りを盛り上げています。



古町大神輿会八角(八角さん)

こまち おおみ こし かい はつ かく



古町の「お神輿さん(おみこっさん)」「三体の二番目は「八角さん」です。八角屋根は京都御所の紫宸殿(しんでん)にある天皇の御座席、高御座(たかみくら)を模したもので、金色の八角屋根が特徴です。6日の夕方から恒例の「ロープ巻き」があり、「喧嘩支度」をして鉢合わせに備えます。往古は八角大神輿は村方農民が担ぐとされています。

古町大神輿会千本神輿(千本さん)

こまち おおみ こし かい ちぎ みこし



古町の「お神輿さん(おみこっさん)」「三体の一番目は三角屋根の「千本さん」です。正面は春日造り、側面は日吉造り、屋根の棟には神明造りの千本を置いています。平安時代の美しさを保ち、黄金の三角屋根が特徴です。日本の神輿のルーツが偲ばれます。



宇和島市役所牛鬼保存会

うわじましやくしやうしおにほ ぞん かい



宇和島と言えば、牛鬼。牛鬼をこよなく愛し、保存と伝承を目的として、昭和50年に宇和島市役所職員有志により結成されました。会員数200名は、市内に数ある保存会の中でも最大規模で、毎年7月のうわじま牛鬼まつりだけでなく、海外でのイベントにも何度となく参加し、宇和島牛鬼の代表を自他ともに認めています。今回は、松山の神輿に負けぬよう気迫で立ち向かう覚悟で、遠く宇和島よりやってきました。牛鬼魂、ここにあり！

古町大神輿会四角(四角さん)

こまち おおみ こし かい し かく



古町の「お神輿さん(おみこっさん)」「三体の三番目は「四角さん」です。四角屋根は神輿の定番型で、物事の始めの色である黒色の通し屋根に特徴があります。屋根の上には王者の鳥、金色の鳳凰を置いています。八角さん同様、6日の夕方から恒例の「ロープ巻き」があり、喧嘩支度をして鉢合わせに備えます。往古は、四角大神輿は町方町民が担ぐとされています。

丸穂牛鬼保存会

まる ほ うし おに ほ ぞん かい



丸穂牛鬼保存会は宇和津彦神社秋祭り10月29日で日本一古い牛鬼の頭を使い又宇和島牛鬼祭り7月24日は日本一大きな頭を使い、こすす宇和島市を代表する牛鬼であります。今の宇和島市の牛鬼が存在するのも丸穂牛鬼保存会があればこそだと言われています。これからもガンバリます。なお、松山の秋祭りにも7年連続で参加させていただいています。



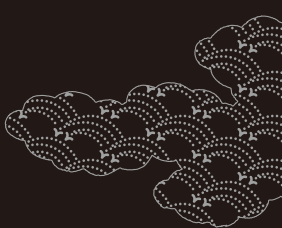
名古屋郊外の武將を扮して、観光客をもたすため平成21年11月3日結成、通称「タコ武将隊」と言われ、毎日名古屋城に観光客の目撃を待っています。土曜日は、日本初甲冑ダンスパフォーマンスを始める予定で、演武を披露している4月には、CDデビューも果たしました。「丸名古屋開府400年事業」2010年の「タコ武将隊」として誕生。名古屋市の市章である丸印の入った風呂敷には、ねじり「かまどち」が入って、出羽大川に流れて交流を続ける。今年からは名古屋市の「タコ武将隊」として、名古屋城での活動をはじめ、市内内外で名古屋PR活動中。

琉球國祭り太鼓

りゅうきゅうこくまつ たいこ



「琉球國祭り太鼓」は沖縄のエイサーをベースに、空手の型を取り入れた独自の振り付けとダイナミックなパチパチで、今や沖縄を代表し、若者に圧倒的な人気を誇る太鼓集団です。昭和57年に沖縄市の泡瀬を中心とした若者達によって結成されて以来、全国各地に支部があり、海外にも支部があります。



みぞのべ女神輿

おんな みこし



溝辺町では秋祭りの日に「お祭り広場」と言うイベントをします。その中で「みぞのべ女神輿」は生まれました。道後から大神輿のお供「お祭り広場」では、よさこいソーランを踊ったり、水軍太鼓を演奏したりと、溝辺町の秋祭りに華を添えています。神輿はちよつと重けど精一杯頑張ります。カワイイ法被に！粋な祭り装束オテンバ娘たちを応援してください。

小野桜会

おの さくら かい



小野桜会は、毎年10月6日に小野地区の平井町商店街で行われる「女の秋祭り」を中心に活動しています。今年で16年目を迎える女の秋祭りでは、総勢60名を率いる小野桜会のほか、5台の女神輿が一勢に集い、男神輿に負けない艶やかで力強い「かきくらべ」を行います。日本一の女神輿を目指し、日々活動を行っています。

松山秋祭り2011

■タイムスケジュール

11:00～	開幕	各種屋台・B級グルメ店・観光ブース(愛媛県、名古屋市、宇和島市、松山市)の開設 獅子舞、琉球國祭り太鼓、名古屋おもてなし武將隊、などが公園各所で演技を披露
12:50～	神輿・牛鬼入場	伊台・味生・西長戸八町会 六町会 八幡会 古町会 宇和島牛鬼(宇和島市役所牛鬼保存会、丸穂牛鬼保存会)
13:50～	式典	(会長挨拶、来賓挨拶)
14:00～	オープニング	名古屋おもてなし武將隊 琉球國祭り太鼓 水軍太鼓
15:00～	パフォーマンス	神輿鉢合せ等 宇和島牛鬼
17:00～	神輿・牛鬼退場 閉幕	

※まつりを飾る、屋台も花をそえています。お楽しみください。

お問い合わせ／大神輿総練実行委員会
財松山観光コンベンション協会内 TEL089-935-7511

- 主催／大神輿総練実行委員会
- 協力／財団法人松山観光コンベンション協会、伊豫之國松山水軍太鼓保存会、松山市獅子舞保存協会、名古屋市・公益財団法人名古屋観光コンベンションビューロー、琉球國祭り太鼓
- 後援／愛媛県、松山市、愛媛新聞社、NHK松山放送局、南海放送、テレビ愛媛、あいテレビ、愛媛朝日テレビ、愛媛CATV、FM愛媛
- 参加団体【神輿】八町会(溝辺町大神輿、湯之町大神輿、道後村大神輿、大唐人神輿、持田連合大神輿、小唐人大神輿、北小唐人大神輿連合会)、六町会(雄郡神社大神輿新巴講)、古町大神輿会(千本さん、四角さん、八角さん)、八幡会(朝日ヶ丘大神輿、朝美一丁目社町大神輿朝美会、山西仁喜多津会、獅子舞:大可賀新相生会)、睦味会(南斎院産土会)、客王神社大神輿、西長戸連合会港大神輿、女神輿(みぞのべ女神輿、小野桜会、雄郡神社大神輿新巴講紅媛神輿、まどな神輿、持田中神輿、天神花神輿、西長戸連合会港女神輿)【牛鬼】宇和島市役所牛鬼保存会、丸穂牛鬼保存会【オープニング等】名古屋おもてなし武將隊、水軍太鼓、琉球國祭り太鼓、松山市獅子舞保存会

雄郡神社大神輿新巴講紅媛神輿



平成17年に「若い世代に歴史と文化の継承活性化のある町作り」をテーマに、雄郡神社大神輿・新巴講より、女性だけで担ぐ神輿を立ち上げました。神輿の命名は、雄郡神社の高市宮司にお願いし、紅媛神輿という名前を頂きました。高貴な女性の神輿」という意味です。また、平均年齢23歳という若さも紅媛神輿の魅力の一つです。

天神花神輿



春は「道後温泉祭」夏は「天神祭」で活躍している天神花神輿。平成8年7月24日、日本で初めて女性だけで担ぐ神輿として、正位井手神社に奉納されました。この神輿には、北立花町内に生まれ育ち、当時61歳で厄年を迎えた男性の、松山市の発展と町街の賑わいを願う思いが込められています。つなげよう無限のパワーまつり人プロジェクト④「道後温泉女神輿会を立ち上げました」。

南斎院産土会



南斎院町の日吉神社では、50年以上もの間、大人神輿が眠ったままになっていました。その神輿を日吉会として2000年に復活。巡町し、その後、南斎院町の産土会と、空港通の空連会の2団体となりました。産土会の神輿は、2004年に新調しました。神輿四面の板環瑠や隅環瑠の輝きにも御注目下さい。

まどんな神輿



道後温泉本館100周年・平成6年に誕生した女神輿。道後温泉に関わる祭りや行事に登場し、3月19日、21日「道後温泉まつり」では天神花神輿・持田中神輿をむかえ、三体の女神輿で祭りに華を添えております。中でも男神輿ながらの鉢合わせパフォーマンスは多いに盛り上がります。また今年の春、つなげよう無限のパワーまつり人プロジェクトをスローガンに「道後温泉女神輿会」を立ち上げました。

西長戸連合会港女神輿



私たち西長戸連合会港女神輿は松山市や西長戸町の活性化のためにがんばっています。又、地域のお祭りや結婚披露宴などにも参加させて頂いております。この様な大イベントに参加出来た事に感謝と喜びで一杯です。松山市や西長戸町のためにがんばってまいりますので応援よろしくお願い致します。

西長戸連合会港大神輿



西長戸連合会港大神輿は戦後から復活2年目を向かえる事が出来ました。地域の方々の御支援を頂き又今年もこのイベントに参加する事が出来た！へんうれしく思います。「西長戸町に活力」を合言葉にこれからもずっと続く様にがんばっていきます。

持田中神輿



城下に栄える持田の町に、大中小と揃った持田の神輿。かつての青年神輿を受け継いで、女神輿として結成したのは平成9年。松山に数ある女神輿のうち「道後の華」と謳われる三つの神輿のその中で、神輿の大きさもさることながら、粋な鯉口を身に着け、法被姿の伊達姿、熱視線を一身に担いで魅せるは我々が持田中神輿。持田の女はここにあり！まどんな神輿・持田中神輿とともに「つなげよう無限のバワーまつり人プロジェクト」④「道後温泉女神輿会を立ち上げました」。

客王神社大神輿



下伊台地区の客王神社大神輿は、昭和41年を最後に36年間、運行が途絶えていました。平成15年に「客王神社神輿保存会」を結成し、秋祭りから大神輿の運行を再開しました。平成17年からは、上伊台の2地区と「三神会」を組織し、J・A愛媛伊台支所前に伊台3地区の大神輿や子供神輿が一同に会し、かき比べや鉢合わせを行うと共に獅子舞も披露するなど、年々、見物客も多くなり盛大な祭りとなっています。

溝辺町大神輿



溝辺町自治会が運営している溝辺町大神輿の歴史は古く、大正時代の新聞にも掲載されたことがあり、当時から勇猛果敢な力持の多い大神輿として、町内外の祭りファンの方々から親しまれてきました。現在は道後駅前での鉢合わせだけでなく、溝辺町内でお祭り広場というイベントを開催。その中では県内外から「阿波踊り」や「琉球國祭り太鼓」等様々な伝統芸能を招き趣向を凝らした秋祭りを運営しています。

湯之町大神輿



20年ぶりに湯之町大神輿は、新調新しい神輿は、3尺5寸の胴はベタ金の屋松桐の回方は、鳳凰、獅子、虎、龍の精巧な彫金がほどこされた華麗な仕上がりとなっております。今年も心機一転ガンバリます。

持田連合大神輿



持田連合大神輿は、道後伊佐爾波神社から、宮出しされる持田町・北持田町・南持田町を神域地域とする大神輿です。毎年道後八町の鉢合わせでは走る神輿を目指して、潔さと力強さと華やかさを旨としています。現在、大神輿は、平成10年に新調されたもので、里屋根に鮮やかな黄色のロープを巻いており、秋祭には子供神輿4体と中神輿1体とともに地域に根差した活動を行っています。

雄郡神社大神輿新巴講



新巴講は雄郡神社に所属する神輿です。前身の巴講より神輿を受け継ぎ、現在で約70年の歴史を持つ、町方神輿です。30の町内会で組織する神輿団体で、銀天街・大街道・千舟町・市駅前・三番町・末広町・泉町・柳井町などを神域としています。平成17年より女神輿「紅媛（くれない）神輿」を立ち上げました。

道後村大神輿会



道後村大神輿会は、左肩に巴の紋を染め抜いた黒の法被を身にまとい、漆黒屋根の大神輿を担ぐことに命を掛ける男たちです。二心同体の言葉を心に刻み、宮出しから宮入りまで一人も欠けることなく神輿を担ぎ抜くことが私たち道後村神輿守りの誇りです。毎年10月7日、道後温泉駅前で開催される鉢合わせに、神輿守りは1年の全てを注ぎます。

小唐人大神輿



松山市の中心部を神域とする伝統の「赤神輿」。昭和30年代から中断していた喧嘩神輿を30年ぶりに復活させ、今年で再興27年目を迎えます。大地の神・大國主命「兼学」の神少彦名命を祀る道後温泉湯神社」を守護社とし、「強く、正しく、美しく」を訓とした粋な神輿です。年に一度、全国でも珍しい喧嘩祭りを全身で感じてみてください。

朝日ヶ丘大神輿



朝日ヶ丘大神輿は、朝日八幡神社に所属する神輿です。昭和23年から引き継いだ、大入神輿から、平成8年に現在の大神輿に新調しました。秋祭りでは、神社境内で鉢合わせを行なった後、朝日ヶ丘2丁目を中心として獅子舞と大神輿、子供神輿2体で巡町を行い、地域の方々と秋祭りを盛り上げています。

大唐人神輿



大唐人神輿の特徴は、飾り神輿を引き継いでいるために屋根に厚みがあるほか、二重高欄を採用した全体に高さがある美しい神輿です。紺のロープで巻き上げられた神輿の姿は、精悍さを醸し出しています。神輿守は、三つ盛三つ巴の紋の背に、裾を三本の白ラインで引き締めた濃紺の法被をまとい、華麗に神輿をかき上げます。強さと美しさを兼ね備えたすばらしい神輿をご覧ください。

北小唐人大神輿連合会



道後、湯神社から宮出しされる北小唐人大神輿は、再興してから来年20周年をむかえます。久保洋大頭取と執行部50名が中心となり、「魅せる祭り」を目指し、神輿、獅子、太鼓、紫色の法被の神輿守で道後のみならず、地域の秋祭りを盛り上げています。

朝美二丁目辻町大神輿朝美会



我が町の神輿は、戦後すぐに新調された後、破損がひどく28年間放置されていましたが、昭和60年に町内会の総力で復興しました。朝美会も平成10年に結成し、空港に展示されたこともある旧神輿の景観を基調とし、平成17年に黒屋根の大神輿を新調しました。朝美会、時と共に造り上げられた「楽創統を合言葉に神輿を通して地域の輪を広げ、この神輿守は本心に楽しんだ」と誰からも羨ましがられる祭を目指し続けます。